



予防のススメ

宮崎大学MAGAZINE

vol.24 2016



冬の感染症を徹底対策!
インフルエンザ・ノロウイルス

宮大生の気になる子ちゃん

教職員紹介 楠元和美 (宮崎大学 障がい学生支援室 准教授)

サークル紹介 無線部

トピックス イベントカレンダー

ディスカバ宮大 清花アテナ男女共同参画推進室



インフルエンザ流行やノロウイルス感染のニュースが駆けめぐる季節。
楽しい年末年始を過ごすためにも、いまから徹底対策、がんばりましょう！

冬の感染症を徹底対策！

インフルエンザ

ノロウイルス

冬の感染症として注意しなくてはならないのが、インフルエンザとノロウイルス。特に幼児や高齢者の罹患は心配だ。これらを予防するため、何をしてあげばいいのだろうか？ 宮崎大学医学部附属病院で、院内感染対策を担っている岡山昭彦先生に、事前にできる感染症対策についてお聞きした。「完璧に防ぐことは難しくても、ウイルス感染を少しでも減らすことが大事です」。本当に重要な行動を徹底し、この冬を乗り切ろう。

度の名前が付いたものもあります」。

今年のインフルエンザは？

取材したのは11月半ば。気になる今年のインフルエンザの特徴について、早速、先生に尋ねた。「これは、まだ分かりません。流行が始まるのは年末から、ピークは年明け1月くらいです。年末年始に大勢の人が移動することによって広がり、3月くらいまで続きます。インフルエンザにはA型、B型、C型があるのですが、C型に罹るのはほとんどが子どもで、大人が罹るのは主にA型とB型です。A型がまず大流行を起こします。春先になってくるとB型に罹る人が増えます。A型には香港や2009という年

ワクチン接種は効果あり！

インフルエンザの型によって対策方法を変える必要はないという。どの場合にも対応できる対策を見ていこう。まず一つ目はワクチン接種。例年、ワクチンを打つてもインフルエンザに罹ったという人の声もよく耳にするが……。「打った人すべてが罹らないわけではありませんが、ワクチンの予防効果は、統計でしっかり証明されています」と岡山先生はにっこり。

ワクチンは流行する前、11月ごろに打つ

ノロウイルスの対策は？

症状が出ない場合もあるというノロウイルス。感染しても本人が気づかずに、調理などに関わることもある。「予防するとすれば、生ものをとらないことです」。ノロウイルスは熱すると壊れる。中まで80℃ぐらい、完全に火が通ったもの、煮物なら比較的安全という。罹ると半日から2日ぐらいの間に嘔吐下痢の症状が出ることもある。元気な人なら概ね2日で回復する。「昔はおなかを壊した、何かにあたったと言っていた。ウイルスを検出できるようになったのはごく最近なのです」。

ノロウイルスが厄介なのは、アルコールに比較強いこと。だからこそインフルエンザと同様、頻回に手洗いをするのが重要だ。こちらも罹った場合は、学校や職場に行かないこと。家庭で子どもさんが罹った場合、嘔吐などの処理をするときは、手袋とマスクを着けたり、吐しゃ物が付いた床やスリッパの裏などは、次亜塩素酸ナトリウムでふいて消毒するといひ。

「予防は○か×ではなく、○に近い△を目指す。完全に感染を○にするのは難しいですが、なるべく減らしていくのが大事なのです」。一つひとつできることを、一人ひとりが心がけていこう。

たりすると、喉について感染します。何度も手を洗ったり、アルコール消毒液を使ったり、それを頻回にすることが大事です」。岡山先生は頻回の手洗いの重要性を強調する。

手洗いの次に考えられるのはマスク装着だが、意外にも予防策としては効果が限られているという。なぜなら「マスクを正しく使うのは難しい」から。「マスクの表面には飛沫が付いています。外したら新しいものに取り換える。何度も使っていないませんか？」。確かに、人と話すときにずらしたり、食事のときに外してまたつけたら、身に覚えが……。ただし、患者さんはマスクをしてください。周りの人につつしくするための効果はありますよ」と岡山先生。うがいも気持ちいいが、ウイルスの侵入を防ぐには、よほど頻繁にやるしかないのが実態だ。

ほかには、水分を摂ること、たっぷり睡眠をとって、栄養もバランスを考えてとることが大事。岡山先生は「免疫は眠っているときに働くという説があります。当たり前のことなのですが、大切なことです」と話す。そしてし寝てしまったら、外出せずに休養をとること（人にうつさないことが重要）。幼児や高齢者、持病を持っている人はなるべく早く医師の診察を受けるようにしたい。

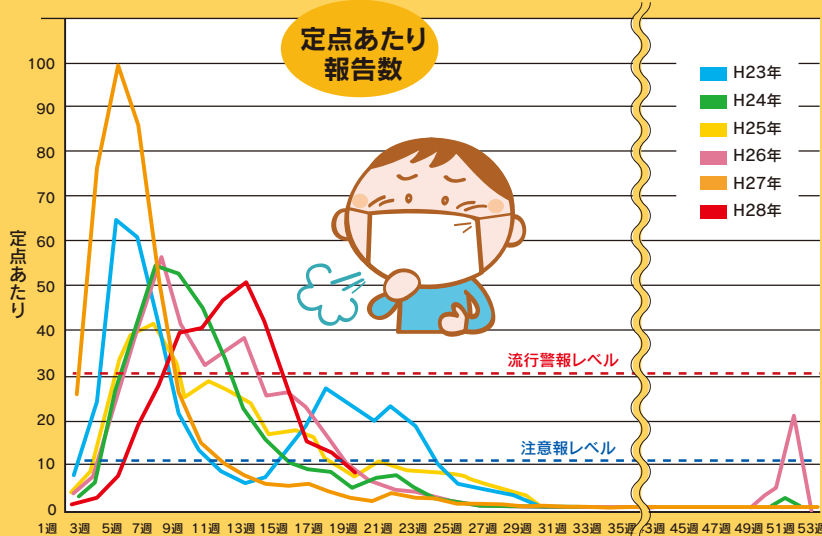


Profile

岡山昭彦 【おか・やま あきひこ】
宮崎大学医学部 内科学講座免疫感染病態学分野教授
附属病院膠原病感染症内科長ほか
専門分野は膠原病・感染症

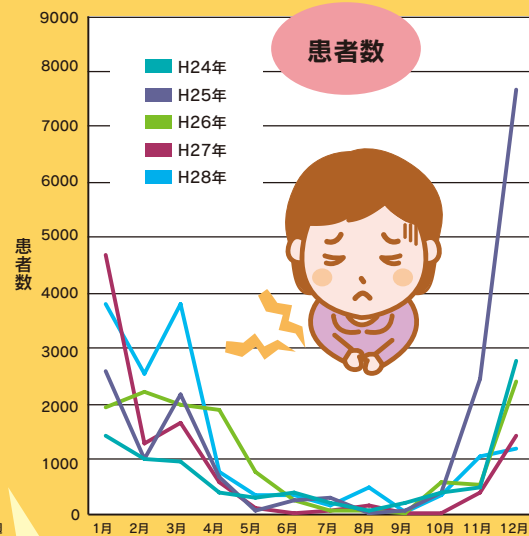
インフルエンザの発生状況

(宮崎県)



平成27年のピークは平成27年第4週(1月19日～25日)。報告数が例年になく多く、完全に終息するまで時間がかかっているのが分かります。平成28年のピークは平成28年第10週(3月7日～13日)。流行のスタートは遅く、その後は例年より早く終息しました。

ノロウイルスによる食中毒発生状況 (厚生労働省)

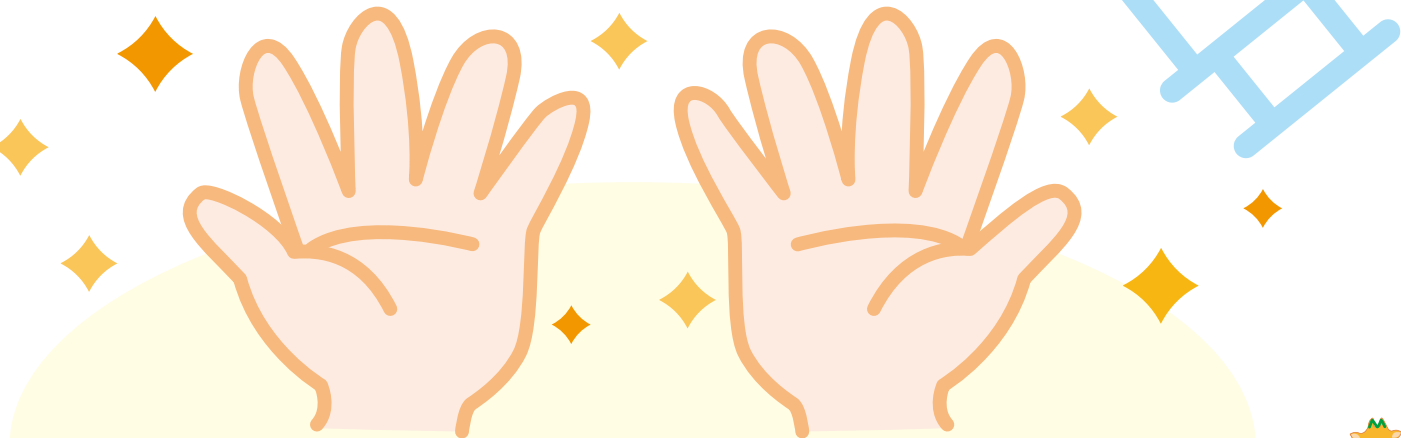


高齢者は、インフルエンザの罹患から肺炎を引き起こす場合があります。肺炎球菌ワクチンの接種はお済みですか？
条件にあてはまる方は、予防接種に必要な料金が助成されます。料金は住民票のある市町村により異なります。

手洗いの回数に勝機あり

いよいよ12月に入ると、新聞紙上で「インフルエンザが流行し始めた」というニュースが飛び込んでくる。その時期に大切なことは？「一つは、なるべく人ごみに出ないことです。接する人が少ないほうがいいです。そしてもう一つ、重要なのが手洗いです。インフルエンザは飛沫感染です。せきやくしゃみに含まれる唾液や痰の粒、目に見えない霧のように吹きだしたものが飛沫です。これが下に落ちて周りの物の表面にくっつきます。見えませんが、手で触って、その手で食べ

ておけば約3週間で効果が現れ、流行の時期には抗体が出来て免疫が付く。予防効果があり、もし罹ったとしても重症化しにくいので安心だ。また12歳以下のお子さんは2回受けることが必要となる。13才以上でも3月に試験を控えているという受験生で、試験の1カ月前ほど前にもう1回打って、免疫を強めておくという人もある。





障がいのある学生が、
自立できるように支援したい

障がいの有無に関わらず、学生が同じ環境で生活を送ることができるよう、平成26年4月、「安全衛生保健センター」内に「障がい学生支援室」が設置された。スタッフとして常駐する楠元和美先生は、宮崎医科大学を卒業後、産婦人科医として胎児・新生児の周産期脳障害等の研究を続けてきた。現在は肢体不自由や発達障がい、内部障がいなどのある学生を心身両面からサポートする。学内がより使いやすくなるよう、整備について意見を出すことも。「例えば、駐車場とスロープの位置です。車を降り、車いすで遠回りしてスロープに行くのは不便です。通路に自転車置いてある時も通行できませんよね。適切な整備と合わせてみんなの理解が進むようにすることも大事だと思います」と楠元先生。



宮崎大学
障がい学生支援室
准教授
楠元 和美
専門分野：産婦人科学



教職員紹介

プライベートでは4歳から18歳まで、4人の子のお母さん。自身が生まれ育った宮崎は「子育てにもいいところ」と話す。最近は、趣味のテニスを夫と小学生の長男、次男と一緒にやることも。「忙しくてにぎやかな毎日。義理の両親と同居なので安心です」と感謝する。

支援室では今後、就労支援にも力を入れていく。「障がいのある学生の就労は、県内ではなかなか厳しいのが現状です。自分にどんな仕事に向いているか自己理解を含めて考えるための勉強会をスタートしました」。在学中の学生、就学を考えている高校生やその保護者も、気軽に相談してほしい。



無線部

無線部は様々なことをやっています。主な活動としては一定の時間でどれくらい交信できるかを競うコンテストや、高い山などに行つて無線を運用する移動運用などがあります。

インドアでひたすら交信やプログラムを組む人もいれば山に登って運用するアウトドアな人もいますよ。他にも無線で世界中と交信したり、サークル棟の屋上でアンテナの整備をしたり電子工作をしたり…お金が無くてもなんでも修理&自作するので、機械関係についても覚えられます。現在は屋上のアンテナタワーを修理中です。

無線を運用するには国家資格が必要ですが最初に取得する4級は簡単なので気軽に始められます。

最初は何もわからなくても少しずつやっていくと面白いです。特にモルリスなどは覚えてできるようになると非常に面白いです。

18年間部員がいない期間を経て復活した部活なので常に人手不足です！大学から無線を始めた人も多いため、工学部以外や女性の方も大歓迎です。興味がある方はサークル棟3階の部室まで来て下さい。



宮大生の

気になる子ちゃん

今回のお題は

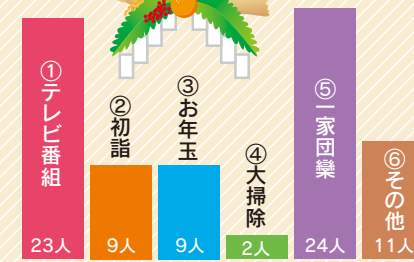
年末年始の過ごし方

今回の「気になる子ちゃん」のテーマは、「年末年始の過ごし方」です。年末年始に関する気になる質問をしてきました。年末年始の過ごし方だけでなく、お年玉事情まで聞いてきました！



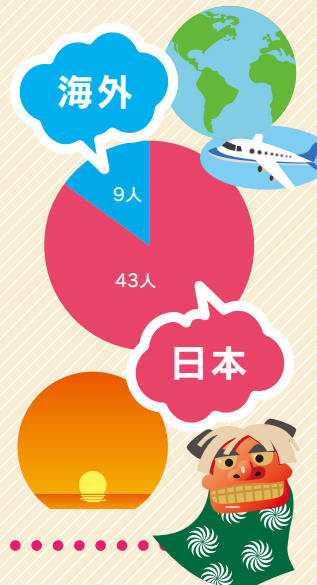
02 年末年始の楽しみはなんですか？

アンケートの結果、①と⑤が大多数を占める結果となりました。①については年末年始は長い時間の特番が多いので、ついつい見ちゃうなんてこともよくありますよね。家族そろってテレビを見ながら団らんするなんてこともあるかもしれませんね。その他の回答の中に「初売り」や「除夜の鐘を突く」というのがありました。年始の初売りは、お得にお買い物できるチャンスでもありますよね。人混みが苦手なければ、行ってみるのもまた楽しそうですね。



01 年末年始は日本と海外、どちらで過ごしたいですか？

私たちは、海外で過ごしたい人が多いのではないかと予想をしていました。やはり海外を選んだ人の中には、「一度は海外で過ごしてみたい」「あのお祭りのような年越しを経験してみたい」という意見がほとんどでした。行先としては、ニューヨーク、カナダ、グアム、ハワイ、ロサンゼルス、イギリスなどがありました。日本を選んだ人の意見は、「年末年始はゆっくり家で過ごしたい」「親戚や、友人と遊びたい」「みたいテレビ番組がある」「年越しは家族と家で過ごしたい」という意見がありました。



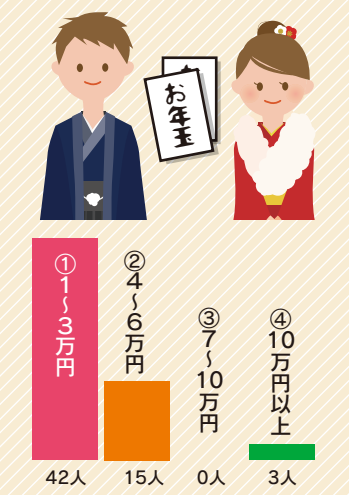
04 お年玉はいつまでもらえますか？ またもらえていましたか？

お年玉というのは大人から子供へという印象が強いもの。大学生になると子供から大人になる時期でもあると言えます。また、この4年間もしくは6年間の間で、高校卒業、成人、大学卒業と大きなことを経験します。そこで、この質問をしました。大学卒業までもらえる人もいれば、在学中だが、20歳になったら終わりという方まで様々でした。家族間での決まり事や慣習なども関係しているのかもしれない。その他の回答の中には「ずっともらえる」「いつまでもらえるかわからない、決まっていな」というものがありました。



03 お年玉は平均いくらもらいましたか？

ほとんどの回答者が①という結果になりました。私がこのアンケートの結果を見た感想は「意外とあまりもらっていないんだな」というものでした。勝手に「もらっていない」というイメージが…。④の10万円以上もらっている人が3人もいたことに驚きました。個人の状況は、年齢が上がるにつれて年々もらえる額が減ってきているように感じます。小学生の頃のほうがもらっていたな…。



私たちと一緒に大学の広報活動に関わってみませんか？
メンバー募集中です！！
興味のある方は・・・下記まで

学生広報
スタッフ
募集中

広報・渉外係 宮崎大学木花キャンパス事務局棟4階
TEL：58-7114
メール：kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

いかがだったでしょうか？
年末年始の過ごし方、お年玉事情を聞いてみました。みなさんの今後に役立てば幸いです。また、アンケートを取っていただいたテーマや、あなたの気になっていることがあれば、左記のアドレスまでメールしてください！
今回の「気になる子ちゃん」もお楽しみに！



トピックス

本学と日本物理学会が市民科学講演会「教科書を書きかえる世紀の発見」を開催



9月25日(日)、本学と日本物理学会の主催で、日本物理学会2016年秋季大会市民科学講演会「教科書を書きかえる世紀の発見」を、宮崎市のシーガイアコンベンションセンターで開催した。

同講演会は、日本物理学会2016年秋季大会(素粒子、核物理、宇宙線・宇宙物理分野)が本学で開催されたことに伴い、物理学研究の最新成果を宮崎の方々に還元すべく、おこなわれたものである。

講演会の講師には、東京大学宇宙線研究所所長の梶田隆章先生と京都大学名誉教授の中村卓史先生をお招きした。本学の池ノ上克学長による講師紹介

から始まり、梶田先生には2015年度ノーベル物理学賞を受賞した「ニュートリノの小さな質量の発見」、中村先生には将来のノーベル物理学賞が確実視される「重力のさざ波の発見」についてわかりやすく講演いただいた。中高生を含め500名を超える参加があり、講演後は活発な質疑応答がおこなわれた。

参加者からは「歴史において大発見をしている人達は、人とは違う発想を持っているなと感じた」といった声が聞かれた。本学では、今後とも物理学の研究・教育を推進し、その成果を地域に還元していくこととしている。



「宮崎大学オープンカレッジ2016 ～食と健康編 in 青島・綾～」を実施

10月6日(木)～8日(土)、「宮崎大学オープンカレッジ2016」を、広島県、熊本県、鹿児島県などの県内外から駆けつけた幅広い世代の受講者を対象に実施した。

本事業は、大学の地域貢献が求められるなか、「食と健康」という観点に重点をおいて学び直しの場を提供し、本学の優れた研究内容を紹介するとともに、本事業のテーマに関心の高い幅広い世代の学外者を対象に、地域資源の磨き上げに貢献し、地域の活性化に寄与することを目的としている。



広島県から参加した受講者からは「平成20年度に初めて参加して以来、今回が4度目の参加となる。通常の観光旅行とは違い、講義や実習を通して様々なことを深く学ぶことができ非常に有意義になった。」、宮崎県えびの市から参加した受講者からは「知人に誘われてとりあえず参加することにしたが、来年も参加したいと思えるような内容だった。」との感想が寄せられた。

本学では、文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」として「食と健康を基軸とした宮崎地域指向型一貫教育による人材育成」というテーマで、地域活性化を生かした「食と健康」を基盤とした教育・研究にも重点を置いている。また、平成28年度からは「地域資源創成学部」を新たに設置、地域の様々な企業や自治体等と連携しながら、活力のある地域を創成できる人材を育成していくこととしている。

宮崎大学地域資源創成学部設置記念シンポジウム開催

10月22日(土)、地域資源創成学部設置記念シンポジウムを創立330記念交流会館で開催し、九州地区国立大学、県内の地方公共団体、学生の実習施設の関係者など約230名の参加があった。

シンポジウムでは、池ノ上克学長の挨拶の後、文部科学省の松尾泰樹大臣官房審議官(高等教育局担当)及び永山英也宮崎県総合政策部長から来賓挨拶があり、引き続き吉田雅彦地域資源創成学部長による学部紹介が行われた。

基調講演では、米良典典宮崎県商工会議所連合会会頭から「地域資源創成学部の使命」と題した講演が行われ、出席者が熱心に耳を傾けていた。

その後、地域資源創成学部の学生によるポスターセッションが行われ、シンポジウム参加者との交流を深めた。

最後に「異分野協働の可能性」と題して、宮崎日日新聞社の森耕一郎編集局長次をコーディネーターに迎え、学部教員によるパネルディスカッションが開催された。パネルディスカッションでは、「新たな教育」「研究への挑戦」「地域との連携」の視点から、多様な分野の教員が在籍する新しい学部の可能性について、活発な討論が行われた。





EVENT CALENDAR

イベントカレンダー

※日程等は今後変更になることがあります。詳しくはHPをご覧ください。

地域情報サイト「パームスマいぶれ」でも、地域一般の方々を対象とした公開講座や講演会等のイベント情報を発信しています。

地域情報サイト「パームスマいぶれ」<http://miyazaki.mypl.net/>



公開講座 【問合せ先】産学・地域連携課 TEL:0985-58-7188	
百人一首の響き ～ちはやふる解説本を読む～	日 時 12月17日(土) 13:00～16:00 場 所 附属図書館視聴覚室3F 対 象 者 どなたでも可(先着50名)
カンキツ類の剪定	日 時 2月5日(日) 13:00～16:00 場 所 宮崎大学木花フィールド 対 象 者 一般・宮崎大学生(10名)
親子で参加林業体験教室	日 時 2月26日(日) 9:30～15:30 場 所 宮崎大学田野フィールド 対 象 者 小・中学生とその家族(10家族)
日本文学の名著を読み直す	日 時 3月5日(日)・12日(日) 13:00～16:20 場 所 教育学部国語学教育講座演習室 対 象 者 高校生以上(10名)
耳の日～耳をたいせつに～	日 時 平成29年3月予定 場 所 未定 対 象 者 一般

イ ベ ン ト	第10回宮崎大学 フィールドセンター 住吉フィールド(牧場)開放 住吉フィールド(牧場) ☎0985-39-1034	住吉フィールドを始め宮崎大学フィールドセンター4フィールドが集まり 各フィールドの特色を活かした催し物などを通し、皆様楽しんでいただいております! 住吉牧場へ遊びに来ませんか!? 日 時 12月10日(土) 場 所 住吉フィールド(牧場)
	卒業式 総務課 ☎0985-58-2854	日 時 平成29年3月24日(金) 場 所 フェニックス・シーガイア・リゾート コンベンションセンター
	入学式 総務課 ☎0985-58-2854	日 時 平成29年4月3日(月) 場 所 フェニックス・シーガイア・リゾート コンベンションセンター
	イブニングセミナー 研究推進課 ☎0985-58-2882	教育・研究の成果を発表するイブニングセミナーを開催しています。 ※詳しくはHPをご覧ください。

トピックス

「みやざき木づかい推進感謝状」を授与

7月28日(木)、みやざき木づかい県民会議から農学部附属フィールド科学教育研究センター田野フィールド(演習林)へ、県産材の利用拡大や普及PR等について顕著な功績があったとして、感謝状が贈られた。

田野フィールド(演習林)は、森林・林業に関する教育・研究機関である強みを活かして森林林業に関する公開講座等に取り組んでおり、また、平成24年度に宮崎市森林認証協議会の一員としてSGEC森林管理認証森林となり、宮崎県とも連携し「みやざき林業アカデミー研修会」にも積極的に協力していることが高

く評価され、この度の県産材普及・啓発部門における感謝状授与となった。

なお、本学は、県産杉材をふんだんに使用した「宮崎大学創立330記念交流会館(コンベンションホール等複合施設)」の建設が評価され、昨年度も県産材利用部門において感謝状を授与されている。



みやざきグローバル人材育成協議会 トビタテ!留学JAPAN地域人材コース第1期生出発式開催!

宮崎県内の12の高等教育機関と17の支援企業・団体等で構成する「みやざきグローバル人材育成協議会」は、8月19日、宮崎県庁講堂にて「トビタテ!留学JAPAN地域人材コース 出発式」を開催した。本事業は、地域定着型のグローバル人材の育成を目的に創設され、本年度、文部科学省の「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム・地域人材コース」に採択されたもの。県内外より13名の応募があり、選考の結果7名

(宮崎大学3名、宮崎国際大学2名、九州大学1名、名桜大学1名)が採用となった。出発式では、関靖直文部科学省総括審議官、河野俊嗣宮崎県知事、池ノ上克本協議会代表(宮崎大学学長)が派遣留学生を激励。「宮崎に貢献できる人材になるという目標に向け、困難に負けず学修に励みたい」と名桜大学3年佐藤孝亮さんが派遣留学生代表として挨拶し、各学生の留学計画の発表が行われた。派遣留学生の7名は、宮崎県が推進するフードビジネス、観光、IT、起業の4つの分野に分かれ、1～2か月間の地元企業でのインターンシップに参加した後、9月より順次ミャンマー、台湾、マレーシア、フィリピンへ出発する。



宮崎県西都市と包括的連携協定を締結

8月29日(日)、本学は、西都市役所(宮崎県)において、「西都市と国立大学法人宮崎大学との包括的連携に関する協定」の締結式を行った。

同協定は、平成25年8月27日に西都市と本学農学部で農学分野での連携事業強化を目的として締結した協定を大学間レベルに格上げし、幅広い分野での連携事業を実施していくことを目的としている。

特に、平成28年度から株式会社日南(本社:神奈川県)、西都市、本学で連携して開始した「西都・妻湯プロジェクト」では、観光資源の豊富な同市において、「健康な食、健康な生活につながる温泉の活用」を目指して、宮崎大学が持つ高度専門技術を取り入れ、主に以下のような事項に取り組むこととしている。

- ①温泉を生かしたまちづくり構想
- ②ロコモティブシンドローム予防などの高齢者を中心とした入浴プログラムの開発
- ③温泉熱を利用したパッションフルーツなどの栽培、温泉水によるウナギ養殖などを研究し、6次産業化の模索

また、在籍する日本人学生と外国人留学生が西都市内の伝統イベントにおいて、企画段階から運営に携わり、それらの活動を通じて地域の人々と魅力を再発見するとともに、多言語での西都市PRビデオを作成する予定などの連携事業

九州・沖縄COC学生情報交換会を開催

9月8日(木)、9日(金)の2日間にかけて、COC事業(地域志向教育の推進)の成果と課題を共有するため、九州・沖縄COC学生情報交換会を本学と日本文理大学主催により大分県由布市で実施した。

参加者は、九州エリアでCOC事業を展開する7大学(大分大学、西九州大学、鹿児島大学、佐賀大

近畿大学リエゾンセンターと連携協定を締結

産学・地域連携センターと近畿大学リエゾンセンターは、9月13日(火)に連携協定を締結し、本学で調印式を行った。両大学ともに、他大学と産学連携分野に特化した連携協定を締結するのは今回が初めてである。

近年、産学連携活動による地方創生に注目が集まっているが、一般的に大学の研究は専門性が高く、産業界から寄せられる相談や共同研究にうまくマッチングしない場合もある。本学と近畿大学は、産学連携分野に特化した連携協定を結ぶことで、企業ニーズや研究シーズに関する情報を共有し、お互いに共同研究や技術移転等のマッチングの機会を増やしたいと考えている。また、農林水畜

産業が盛んな宮崎、ものづくりの町である東大阪という相手側の地場産業と連携することで、新たな分野での共同研究を開拓し、地方創生に貢献することをめざしている。

- 【本協定のポイント】
- 宮崎大学と近畿大学が、産学連携分野に特化した連携協定を締結
 - 企業ニーズや研究シーズを共有し、産学連携のマッチングの機会を増やす
 - 相手側の地場産業を生かした共同研究によって地方創生に貢献



より学びやすく働きやすくを 宮崎大学から発信!

宮崎大学では平成21年から男女共同参画推進の取り組みを本格的にスタートしました。その拠点である「清花アテナ男女共同参画推進室」は「一人ひとりが共に働きやすく学びやすい環境づくり」を目指して、学生・教職員を対象に取り組んでいます。

ワーク・ライフ・マネジメントの向上を目指して 「宮崎大学イクボス宣言」がスタートしています!

「イクボス」とは、職場で共に働く部下の一人ひとりの状況を踏まえたキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も上げ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことを指します。

宮崎大学では、平成28年3月2日に宣言式を開催し、学長をはじめ役員や管理的立場にある教職員約100名が一斉に宣言文に署名しました。上司自らが先頭に立って宣言したことにより、教職員が高い意欲を持ちながら働くことができる環境の実現に期待が寄せられます。今後、学内での実践に加え地域へ向けた啓発活動の展開も予定しています。

宮崎大学 イクボス宣言



イクボス宣言の記念写真 宣言式では、みやだいもうくんも一緒に決意表明!

教職員の子育て・介護を支援!

- 子育てや介護をしやすい雰囲気を醸成することを目指し4種類のシールやバッジを配布しています。



育児中ママ用



育児中パパ用



応援団用



介護中の方用

- 教職員を対象に育児や介護に関する相談に対応しています。
- 木花・清武両キャンパスにおいて、妊娠期のつわりや搾乳のために利用できるスペースを設けています。

未来を担う次世代を育成!

- 一人ひとりの個性と能力を生かす進路選択の支援を目指し「女子高校生のためのサイエンス体験講座」を開催しています。
- 夏期休業期間中の学童保育として「きっずサマースクール」を開催し、教職員の子どもたちにさまざまなプログラムを提供しています。

男女共同参画を推進するための情報を発信!

- 教職員や学生へ向けた意識啓発はもちろん、地域の方にも気軽に参加していただけるセミナーやシンポジウムも開催しています。

研究者のダイバーシティへ向けた 取り組みを展開!

- 文部科学省補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」により、まだまだ少ない女性研究者の育成・登用を目指す取り組みを実施しています。

女子高校生のための サイエンス体験講座in宮崎大学

開催日:平成29年3月7日(火)、8日(水)
会場:宮崎大学 木花キャンパスおよび清武キャンパス
対象:宮崎県内の高校に通う1・2年生の女子生徒
さまざまな分野のプログラムを通じて自分の進路を考えるきっかけにしてみませんか?



大人と子どもで考える ダイバーシティフォーラム(仮称)

開催日:平成29年3月18日(土)
会場:みやざきアートセンター
基調講演:元村有希子氏(毎日新聞デジタル報道センター編集委員)
これからの時代に求められる能力・キャリアとは?ぜひ親子でご参加ください。

まもなく
募集開始!



問合せ:宮崎大学 清花アテナ男女共同参画推進室 TEL0985-58-7508

宮崎大学メールマガジン

毎月1回、イベント情報や最新ニュースなどを紹介するメールマガジンを無料配信しております。登録方法はホームページをご覧ください。



宮崎大学 facebook

大学公式のページを公開しております。みなさんからのたくさんの「いいね!」をお待ちしております。



宮崎大学公式YouTubeチャンネル

宮崎大学インターネット放送局 Myaoh.TVをYouTubeに配信しています。チェックしてください。



宮崎大学広報誌『宮崎大学MAGAZINE』2016 vol.24 [発行日] 平成28年11月30日
http://www.miyazaki-u.ac.jp/

【編集発行】国立大学法人宮崎大学 広報企画室 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 (0985) 58-7114
【印刷】北一株式会社

本誌を読んでものご感想などご自由にメールでお寄せ下さい。kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

*この宮崎大学MAGAZINEは、一般の方々を対象に宮崎県庁や県内の各市町村役場、図書館、道の駅、銀行などで配布しています。バックナンバーは本学ホームページをご覧ください。



宮崎大学HP



大豆油を主成分としたインキを使用しています



古紙配合率100%再生紙を使用しています

*本誌掲載の記事・写真・イラスト・ロゴ等の無断転載を禁じます。